

市民提案型事業中間報告会資料

ファミリーロードの会

事業名

町内会（有志）による植樹帯の整備を通して、旧モデル事業構想の実現

旧モデル事業構想とは

総社市駅南地区区画整理事業完了後、行政と地域とで管理地（花壇、公園など）を整備していくというもの。

この事業を通して目指すもの

対話の場をすることにより町内会の融和と団結をはかり、世代を超えて家族参加型の取組とすることにより、自分達の手で明るく住みやすい町内を創っていくという意識を育てる。

植樹帯に関わる経過

○平成30年度

東町内会・・・町内一斉清掃3回、ボランティア清掃3回

○令和1年度

ファミリーロードの会・・・ボランティア清掃3回
植栽、花壇に垣の設置

○令和2年度

ファミリーロードの会・・・ボランティア清掃3回
家族で野菜を育ててみよう
(トマト、なす、ピーマン、とうもろこし)
ファミリーロードの会看板設置

代表者会の充実

第1回（4月30日）

- ・今後の予定、事業報告会内容

第2回（6月20日）

- ・ボランティア清掃時の取組内容を協議

第3回（7月25日）

- ・中秋の名月を楽しむ会、ファミリーロードフェスティバルの会の内容

第4回（8月25日）

- ・ボランティア清掃反省会

第5回（9月17日）

- ・コロナに負けるな：ファミリーロード親睦会内容

事業計画及び実績

○町内一斉清掃 3回

○ボランティア清掃（植栽、ダンポール垣設置）

5月17日（日）、6月21日（日）、8月23日（日）

11月15日（日）

○芝桜を楽しむ会、中秋の名月を楽しむ会、ファミリーロードフェスティバル

中止

○片岡市長を招いてのコロナに負けるな：ファミリーロード親睦会

○家族参加型の取組

親子で花や野菜を育てよう。

花・・・ポット苗(3種類)、なでしこ

野菜・・・トマト、なすび、ピーマン、とうもろこし、じゃがいも

植樹帯に植栽

R2年5月 ポット苗400株を植栽

R2年8月 野菜作り講習会



片岡市長を招いてのコロナに負けるな：ファミリーロード親睦会

コミュニケーションの場



成果

- 委員からのアドバイスをもとに、町内会を巻き込んだ取組から有志によるボランティアでの取組に変えたことで、予想以上に参加者が多くなった。
- 「家族で野菜や花を育ててみよう」という取組の結果、子どもの参加が少しずつ増えた。ただし、土日は少年団の試合などのため小学校高学年の参加は少ない。
- 今年度初めて他地域の方を招待して、ファミリーロードの会の取組を紹介できた。
- 花壇まわりにベンチを設置したところ、散歩の途中で休憩する人が増え憩いの場となってきた。

課題

- 花の管理上（水やり、購入費用など）、背丈の低い一年草を植えることになり、種を取って各戸に配るという取組ができにくい。
- 隣接する町内会とは運営方法が違うため、有志による協働作業で花壇や公園を整備するという話し合いはできていない。一部活動に賛同してくれる人が出始めた。
- ファミリーロードの会を通じて養った絆を、夏祭り・秋祭りなど、現在町内にある行事に活用していく方法を考える。

市や行政への期待

1. 他地域への啓蒙

有志の活動を他地域へ広めていくことはやや無理がある。行政が「協働のまちづくり」という視点で、大きな規模での事業報告会を開催してはどうか。

2 事業程度の報告会とし、その後有名人を招いてパネルディスカッション形式の討議をして、自分達の手で住みやすい町を創り上げることが大切であるとまとめていただきたい。



ご静聴

ありがとうございました